

## 我らがヒーロー「さんあかレンジャー」



鳥居本が産んだヒーローは、元気に地域貢献中！

## 数字で見る鳥居本学区の“今”

### 《人口の構成》

(平成28年1月末現在)

	0～4歳	5～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合計
人数	60人	331人	529人	891人	840人	2,651人
構成率	2.2%	12.5%	20.0%	33.6%	31.7%	

出典/彦根市

### 《世帯数や高齢化率 等》

(平成28年1月末現在)

世帯数	1,105世帯	高齢者のみの世帯数	161世帯
高齢化率	31.7%	1人暮らし高齢者数	158人

出典/彦根市

## さんあかトリプルAプラン(鳥居本学区住民福祉活動計画)

策 定：鳥居本学区住民福祉懇談会

編集・発行：社会福祉法人彦根市社会福祉協議会

〒522-0041 彦根市平田町 670 彦根市福祉センター別館 1階

【でんわ】(0749)22-2821 【ファックス】(0749)22-2841

【ホームページ】<http://www.hikone-shakyo.or.jp>



←こちらから  
HPをご覧ください  
いただけます

2016>>>2019

～鳥居本学区住民福祉活動計画～

# さんあかトリプルAプラン

## 計画の期間

この計画は2016年度(平成28年度)から2019年度(平成31年度)の間で取り組むものです。

### 【さんあかトリプルAプランって?】

鳥居本の3つの宿場名物「赤玉神教丸」「鳥居本合羽」「鳥居本すいか」になぞらえ、この計画を推進することにより実現したい3つのAから名付けられました。

安心 安全 安住



躍動! まつりを彩る  
鳥中生よさこい演舞!

とりのもと 宿場まつり  
(H27. 10. 4)

9

策定までのあゆみ

この計画を作成するにあたり、平成26・27年度において計9回の懇談会を開催しながら、学区内の課題や今後必要と思われる取り組みを話し合ってきました。

「こんな学区にしたい」という思いが詰まった計画ですが、地域の特性や課題は異なるのが実際です。この計画が1つの指針となり、それぞれの地域で、具体的な行動につながっていくことを願っています。



計画の推進期間：平成28年度～平成31年度

『鳥居本学区住民福祉活動計画』とは、“誰もが住みやすい”“住みたくなる”鳥居本学区を目指し、「福祉」を「⑤だんの④らしの③あわせ」として、地域の“良いところ”や“課題”を整理しながら、地域のみんなで楽しく活動を進めていくためにはどうしたらいいのかを考え、策定した目標です。

鳥居本の⑤④③の取り組み(一部抜粋)



《サロンコスモス》  
コツコツ金亀体操やレクリエーション、食事など、みんなで楽しく過ごされています。  
(中央会館で)



《いきいき教室》  
民生委員児童委員が取り組む「いきいき教室」では、料理教室やニュースポーツ体験などを通して、子どもたちの健やかな成長を応援されています。(写真は野鳥センターでのコハクチョウ観察の様子)

基本理念

～わたしがつくる みんなでつくる～

豊かな自然と歴史の中でともに支え合うまち 鳥居本

活動目標 1

「さんあか」があふれるまちづくり

具体的な取り組み

- ◆ 地域の歴史や伝統、自然に目を向ける機会をつくらう
- ◆ 豊かな自然を活かした体験の場をつくり、地域“愛”を育てよう
- ◆ 鳥居本の特産品を広め、地域を活性化しよう



活動目標 2

誰でもいつでも行ける“心地良い”場づくり

具体的な取り組み

- ◆ 自分たちの地域の未来の福祉について、話し合う場をつくらう
- ◆ 身近な地域で誰もが集えるサロンづくりを進め、住民同士のつながりを深めよう
- ◆ 宿場まつりや文化祭の地域行事等を通し、学区の住民が集える場を大切にしよう



活動目標 3

“住民総活躍”の支え合いづくり

具体的な取り組み

- ◆ 声かけや見守りなど、近隣同士の助け合い活動に取り組もう



ありませんか？

- ・地域の集まりで、あまり顔を見なくなった
- ・昼間なのに門灯がつかっぱなし
- ・新聞受けや郵便受けがたまりっぱなし

- ◆ ちょっとした暮らしの困りごとを支えられる「サポーター」づくりを進めよう

活動目標 4

子育てがしたくなるまちづくり

具体的な取り組み

- ◆ 子育て中の親子が気軽に集える場を充実しよう
- ◆ 鳥居本保育園、鳥居本学園を核とした子育て環境の充実を図ろう

